

DriveChecker株式会社、コーポレートサイトを全面リニューアル

発見も、使い方も、セキュリティ対策も“かんたん”にー Googleドライブのセキュリティ管理サービス、新ドメイン「drivechecker.co.jp」で公開

Google Workspaceのファイル共有管理ツールを提供するDriveChecker株式会社（本社：大阪府大阪市西区、代表取締役社長：大久保哲也、以下 当社）は、2026年10月1日、コーポレートサイトを全面リニューアルし、新ドメイン「<https://drivechecker.co.jp>」で公開しました。

今回のリニューアルでは、「発見も、使い方も、セキュリティ対策もかんたんに」というコンセプトのもと、当社が向き合う課題と目指す姿をより明確にお伝えするとともに、初めてGoogleドライブの共有管理を検討される情報システム部門の方にも分かりやすい構成へ刷新しました。

■ リニューアルの背景

当社は2022年の設立以来、Googleドライブの共有状況を可視化・自動統制する「DriveChecker」を通じて、企業の情報システム部門を支援してきました。ご契約ユーザー数は3万人以上（2026年10月時点）となっています。

近年、Geminiをはじめとする生成AIがGoogle Workspaceに組み込まれ、業務での活用が急速に広がっています。AIはユーザーが「閲覧」できるファイルを検索・要約の材料として使えるため、社外への共有だけでなく、社内の権限設定そのものが情報漏えいの経路になりうる時代になりました。

こうした変化を受け、当社は2026年10月に社内共有を自動統制する「内部共有管理プラン」の提供を開始しました。サービスの広がりに合わせて、当社が何を指し、どのような価値を提供しているのかをより分かりやすくお伝えするため、コーポレートサイトを全面的に刷新しました。

■ 新しいコーポレートサイトのポイント

新サイトは「導入も運用もトンでもなく簡単」をキーメッセージに、当社のパペットキャラクターが案内する親しみやすいデザインへ刷新しました。

1. 「発見」「使い方」「セキュリティ対策」、3つの“かんたん”で価値をひと目で

Googleドライブの運用でありがちな「何が危ない設定か分からない」「どう使ったらいいのか分からない」「セキュリティ対策がよく分からない」という3つの悩みに対し、DriveCheckerがどう解決するのかを、色分けした3つのセクションで紹介しています。危険な共有の可視化から、システムによる自動設定、危険の自動検知・対処まで、初心者の方でも直感的に理解できる構成です。



2. 導入の流れと料金をシンプルに

「会社基本情報の登録」「自社ルールの設定」「利用開始」の3ステップで、最短1日から対策を始められる導入の流れと、1ユーザー月額300円(税抜)からの料金プランを、トップページで確認できるようにしました。

3. 導入事例・よくある質問・無料トライアルへの導線を強化

さまざまな業種の導入事例や、データの取り扱いに関するよくある質問を掲載し、検討段階の疑問をその場で解消できるようにしました。

14日間の無料トライアルや資料ダウンロードにもすぐに進めます。旧サイトへアクセスした場合も、新サイトへ自動で転送されます。

導入後

最短1日で \かんたん/ 対策

01 会社基本情報登録

会社名・住所・ご連絡先の情報をシステムに登録

>

02 自社ルール登録

社内の共有ルールに合わせて各種自動化機能を有効化

>

03 利用開始

各種サービスのご利用にあわせて、セキュリティ対策を開始

資料をダウンロードする →

無料トライアルを始める →

導入事例

CASE STUDY



建設業

ISO審査の指摘から始まった、共有権限ブラックボックスからの脱却

オンプレミス環境からGoogle Workspaceへ移行済。ISMS等外部認証を取得・維持



大手人材サービス業

生成AI活用で発覚した"組織内限定リンク"の思わぬ落とし穴

以前から社外共有制限を実施済・近年、業務効率化のため生成AI（Gemini等）を導入



観光業界

退職者アカウント削除で判明した"オーナー権限"の罠

過去に退職者のアカウント削除に伴う重要なファイル消失トラブルを経験

■ 事業・サービス紹介

DriveChecker（ドライブチェッカー）

Googleドライブの共有状況を可視化・自動統制するクラウド型管理ツールです。危険な外部共有の検知・解除、フリーメールへの共有禁止、共有申請フローの構築など、Google Workspace標準機能だけでは対応しきれない共有管理を幅広くカバーします。2026年10月からは、Gemini活用に伴う社内の権限リスクに対応する「内部共有管理プラン」も提供しています。実ファイルのデータをシステム側で保持しない設計により、安心してご利用いただけます。

ご契約形態・対応環境

「外部共有管理」と「内部共有管理」はそれぞれ単独でも、両方を組み合わせてもご契約いただけます。Google WorkspaceのBusiness Starter／Business Standard／Business Plus／Enterpriseの各プランでご利用いただけます。

■ 今後の展望

生成AIの活用が進むほど、「誰が、どのデータを見られるか」を適切に保つことが、企業がAIを安心して使いこなすための前提になります。当社は今後も、外部共有・内部共有の両面から、ファイル共有の管理を“人の注意”に頼らず仕組みで支える製品づくりを進めてまいります。

あわせて、パートナー企業との共催ウェビナーや展示会への出展を通じて、Google Workspaceを安全に活用するための情報発信を強化します。新しいコーポレートサイトでも、製品アップデート、導入事例、イベント情報、Googleドライブ活用のノウハウを継続的に発信してまいります。

新コーポレートサイト: <https://drivechecker.co.jp/>

■ 会社概要

社名: DriveChecker株式会社

所在地: 大阪府大阪市西区新町1丁目5-7 四ツ橋ビルディング3階

お問い合わせ: support@drivechecker.co.jp